

令和7年度 岩出市学力調査の結果の概要

【 調査の概要 】

- 1 調査日 令和7年4月17日(木)
- 2 調査対象 小学校3～5年生、中学校1・2年生
- 3 調査事項 国語、算数・数学
- 4 調査方式 目標標準評価方式（評価は目標値を基準とし、目標値は解答形式や出題形式をもとに初期設定し、プレテストの結果を加味して調査研究協力委員と協議のうえ、統計処理して決定する。

【 調査の結果 】〈 小学校3～5年生 〉

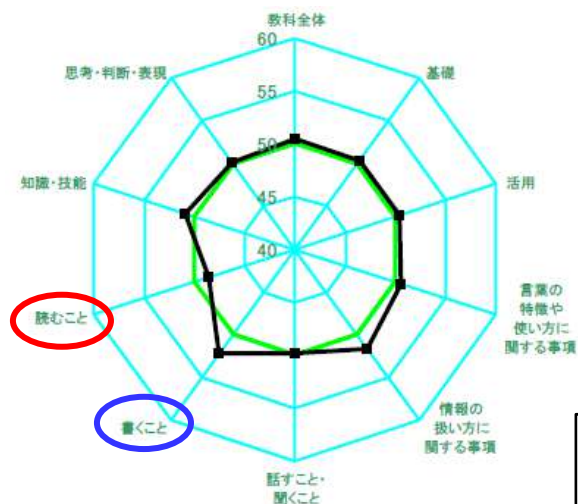
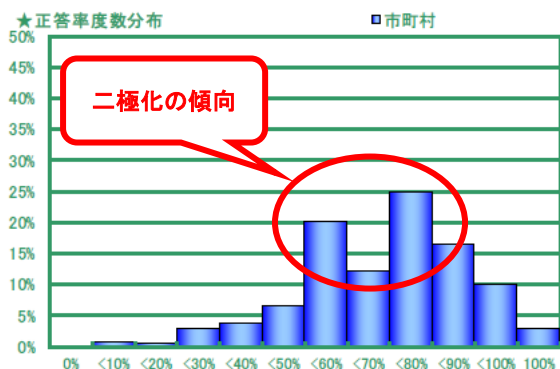
【 結果概要 】

- ※ 国語、算数ともに、目標値（＝期待正答率）と同程度である。
- ※ 4年生の国語は、目標値・全国正答率を上回っている。
- ※ 3・5年生の算数は、目標値・全国正答率を下回っている。

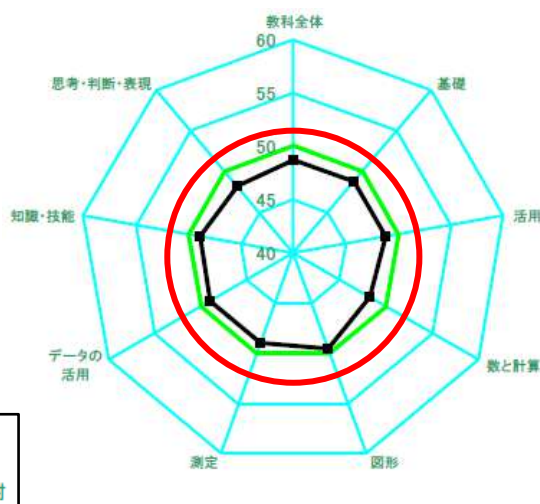
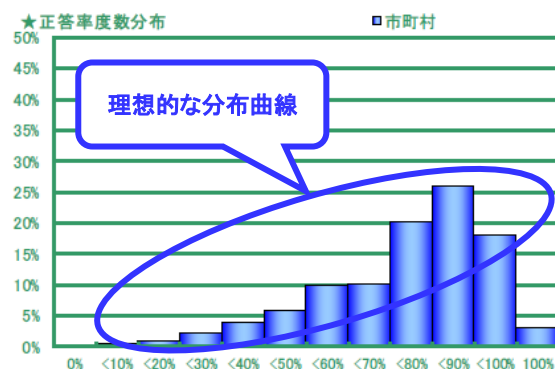
教科	学年	今年度の調査結果	目標値	目標値との差	全国正答率	全国正答率との差
国語	第3学年	68.5	67.5	1.0	67.7	0.9
	第4学年	70.3	66.6	3.7	66.8	3.5
	第5学年	66.0	66.0	0.0	66.2	▲0.2
算数	第3学年	73.1	74.0	▲0.9	75.6	▲2.5
	第4学年	72.6	71.6	1.0	72.4	0.1
	第5学年	65.4	65.9	▲0.6	67.9	▲2.5

【 正答率度数分布と教科概要 】

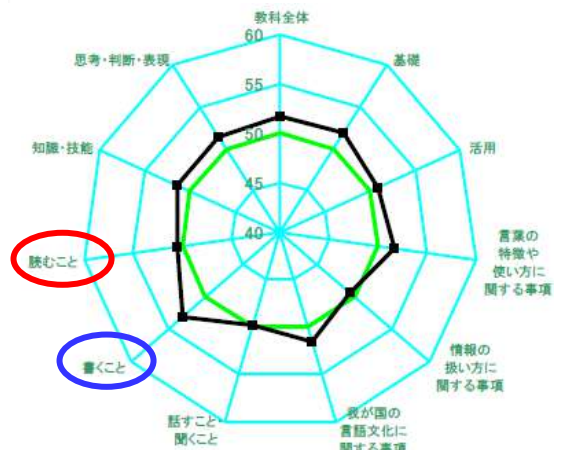
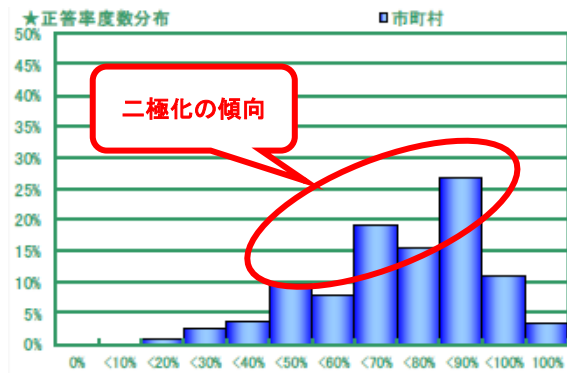
<小3国語>



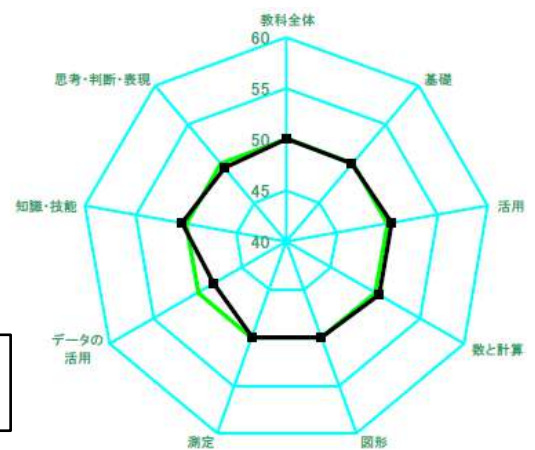
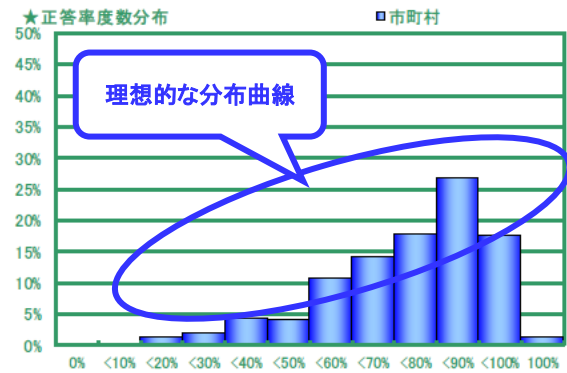
<小3算数>



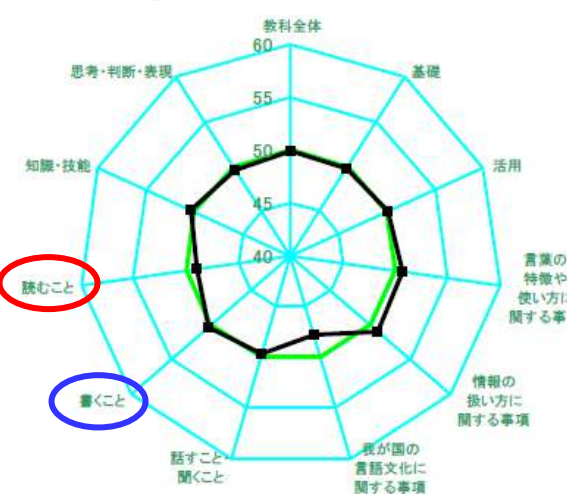
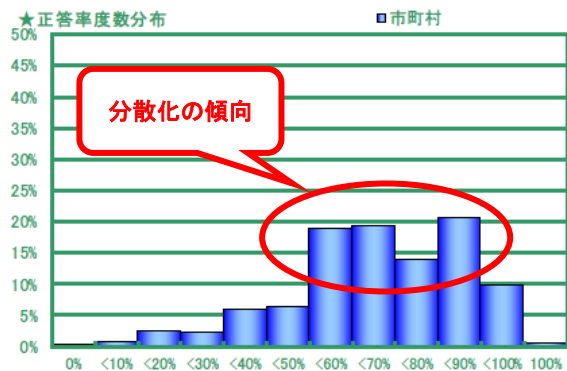
<小4 国語>



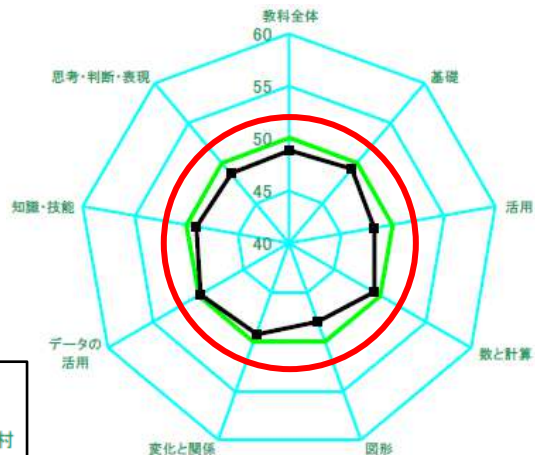
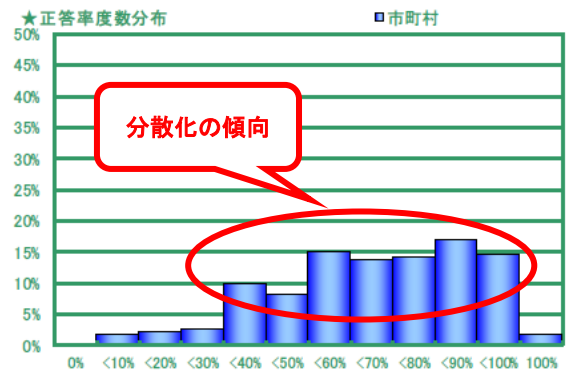
<小4 算数>



<小5 国語>



<小5 算数>



- ☆ 国語科は、各学年とも知識・技能、「書くこと」の領域で成果が見られた。しかし、「読み取り」「グループでの話し合いの様子を基に記述する」など思考し判断する深い学びに関連する領域に課題がある。
- ☆ 算数科は、3，4年生では長方形や三角形などの作図において成果が表れたが、5年生ではひし形の作図に課題が見られた。このことは、図形に対する深い理解が得られていない可能性がある。
- ☆ 正答度数分布から学力の二極化・分散化の傾向が見られ、今後「個別最適な学び」が必要となる。

【 調査の結果 】〈 中学校 1 ・ 2 年生 〉

【 結果概要 】

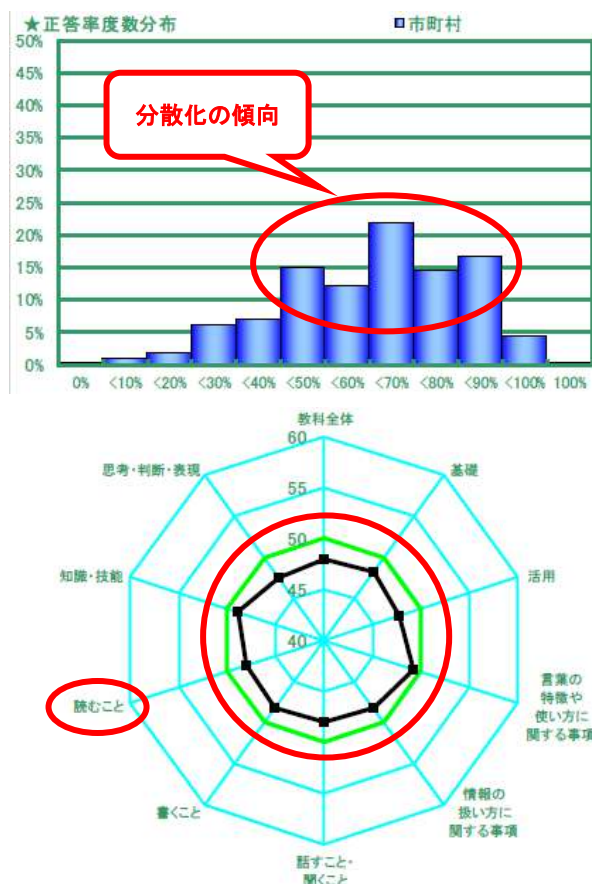
※ 国語は目標値と同程度だが、全国正答率と比較すると差が見られる。

※ 数学は目標値、全国正答率と比較すると差が見られ、特に2年生で課題が見られる。

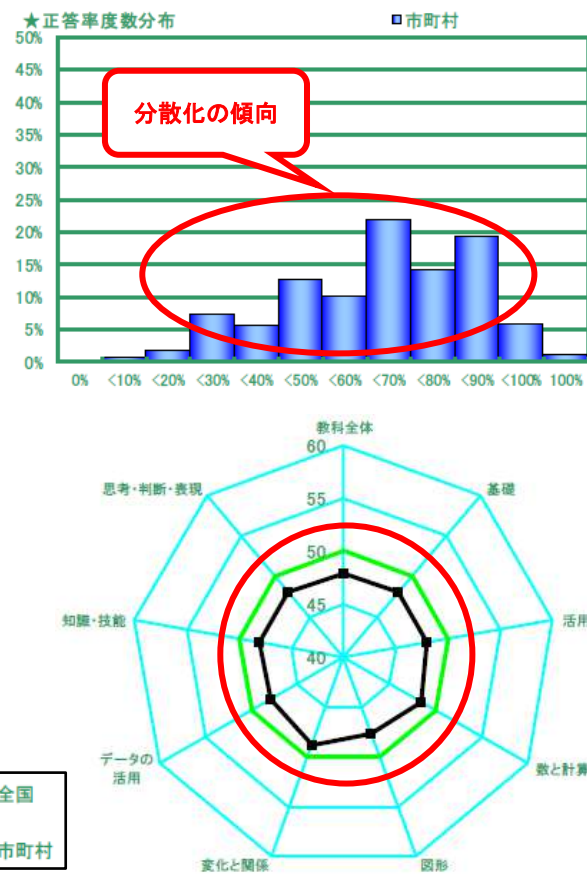
教 科	学 年	今年度の調査結果	目標値	目標値との差	全国正答率	全国正答率との差
国 語	第1学年	60. 2	61. 8	▲1. 6	64. 5	▲4. 2
	第2学年	60. 9	61. 4	▲0. 5	65. 0	▲4. 0
数 学	第1学年	62. 5	66. 6	▲4. 1	66. 8	▲4. 3
	第2学年	46. 9	56. 7	▲9. 7	53. 6	▲6. 7

【 正答率度数分布と教科概要 】

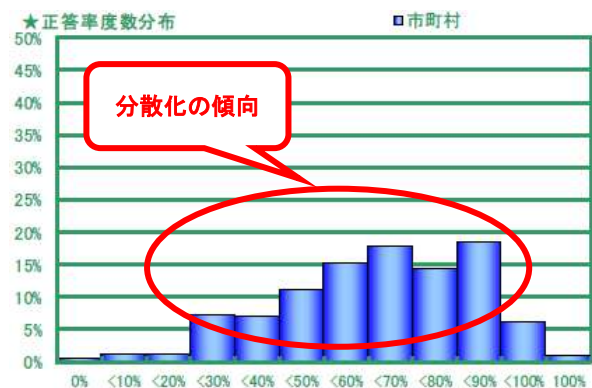
< 中 1 国語 >



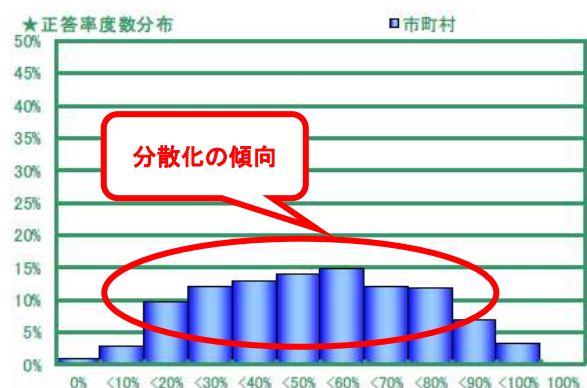
< 中 1 数学 >

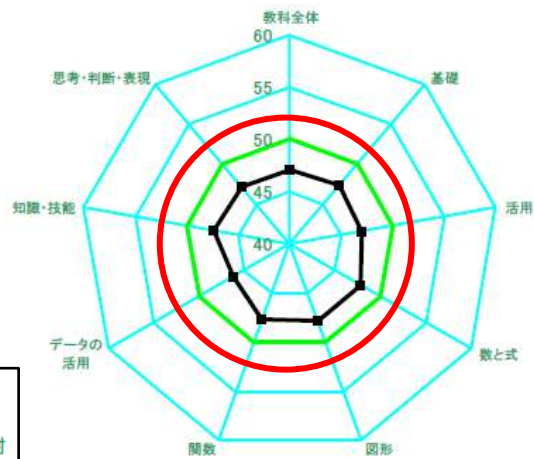
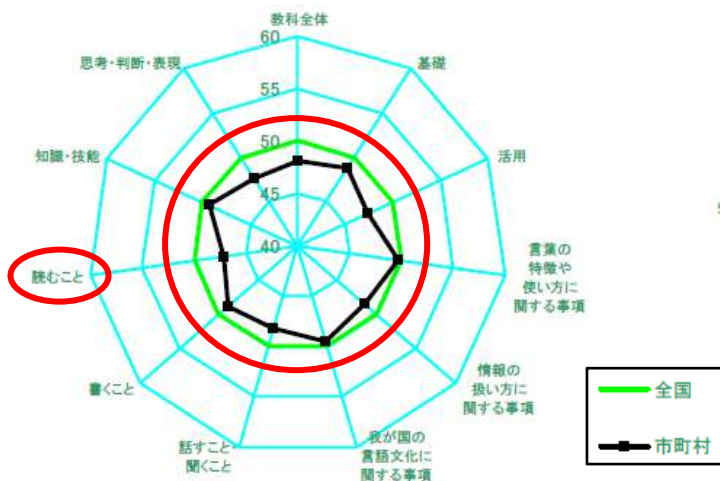


< 中 2 国語 >



< 中 2 数学 >





- ☆ 国語科は、「漢字の読み書き」や「言葉の修飾の関係」など、言語に関する事項において成果が表れている。しかし、「敬語」や「書くこと」などに課題が見られる。また、文学的な作品や説明文など「読む」領域においても課題が見られる。「よむ YOMU ワークシート」の活用や「書く力」の育成を推進する。
- ☆ 数学科では、小数や分数の計算など「数と式」の領域に関して成果が見られる。しかし、「速さの求め方」や「円周と円の面積の関係」、「反比例の意味」など理解不足からの間違いが多く見られた。まずは、知識・理解の領域で基礎の定着を進めるよう指導していく。
- ☆ 小学校と同様、正答度数分布から学力の二極化・分散化の傾向が見られ、今後「個別最適な学び」が必要となる。

【参考】令和6年度全国学力・学習状況調査「経年変化分析調査・保護者に対する調査の結果」から

- ◆ テレビゲーム・SNS・動画視聴の保護者の使用時間と子どもの使用時間に連動性がある。
- ◆ 授業の理解度が高い子供は学習時間が長く、テレビゲーム・SNS・動画視聴の使用時間が短い。

